

## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 アルファグループ株式会社  
 コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉岡 伸一郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 松浦 孝暢

TEL 03-5469-7300

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,042	△6.5	215	2.4	211	4.6	137	0.8
28年3月期第1四半期	7,532	18.6	210	85.4	202	95.1	136	167.9

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 137百万円 (0.8%) 28年3月期第1四半期 136百万円 (167.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	47.69	—
28年3月期第1四半期	43.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
29年3月期第1四半期	7,466	—	3,604	—	48.3	1,255.14
28年3月期	7,914	—	3,539	—	44.7	1,224.10

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 3,604百万円 28年3月期 3,539百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	14,683	△16.7	345	△12.9	326	△11.9	211	71.29
通期	30,121	△15.0	634	△3.8	600	△4.0	389	131.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	3,481,200 株	28年3月期	3,481,200 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	609,065 株	28年3月期	589,865 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	2,887,284 株	28年3月期1Q	3,166,662 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 全般的概況

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)における我が国の経済は、政府、日銀の財政、金融政策により雇用、所得環境が改善する等穏やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとした新興国経済の減速に加え、英国のEU離脱問題や円高の進行など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループは、各事業において安定した収益基盤の確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高70億42百万円(前年同四半期比6.5%減)、営業利益2億15百万円(前年同四半期比2.4%増)、経常利益2億11百万円(前年同四半期比4.6%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益1億37百万円(前年同四半期比0.8%増)となりました。

## ② セグメント情報

## &lt;モバイル事業&gt;

モバイル事業におきましては、総務省による携帯電話事業者への要請及びこれを受けての「スマートフォンの端末購入補助の適正化に関するガイドライン」の平成28年4月1日の適用開始など、モバイル市場全般の事業環境は新たな局面を迎えております。

このような事業環境の変化に対応するため、引き続き好立地への出店や当社独自の教育及び接客サポートツールの提供などにより既存の代理店網強化に努めております。さらに、MVNO(仮想移動体通信事業者)によるサービスの取り扱い強化や法人向け営業についても通信端末のみならず、これと親和性の高い商材まで対象を拡大するなど、各種の取り組みに注力しております。また、スマートフォンアクセサリ専門ショップにつきましても、積極的に展開を進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は50億76百万円(前年同四半期比11.5%減)、営業利益1億2百万円(前年同四半期比16.4%減)となりました。

## &lt;オフィスサプライ事業&gt;

オフィスサプライ事業におきましては、当社保有のコールセンターの活用により「カウネット」の新規顧客獲得と既存登録顧客への継続利用の促進、また当社グループ内での連携を図りモバイル事業における法人向け携帯電話販売のテレマーケティングを行うなどの取り組みに注力してまいりました。さらに、起業時に有用な知識をまとめた情報誌を新たに発刊し、カウネットの顧客獲得に加えて広告収入など、さらなる収益基盤の構築に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16億39百万円(前年同四半期比2.8%減)、営業利益60百万円(前年同四半期比6.6%減)となりました。

## &lt;水宅配事業&gt;

水宅配事業におきましては、水源となる地域での地震発生等の可能性を鑑みてこの数年は新規顧客の獲得を取りやめておりましたが、平成28年4月において好条件での打診を受けたことからウォーターパックの利用から将来において発生する手数料債権の譲受を実施いたしました。引き続き、既存のお客様にウォーターパックをご購入いただくことにより、継続収益が得られるビジネスモデルの維持に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は45百万円(前年同四半期比14.3%減)、営業利益13百万円(前年同四半期比23.6%減)となりました。

## &lt;再生可能エネルギー事業&gt;

再生可能エネルギー事業におきましては、発電設備の接続申込みに対する電力会社の回答保留や接続検討期間の長期化、また太陽光発電に対する出力制御ルール適用等、市場の先行き不透明な状況を鑑みて、前期より積極的な投資の継続を控え、保有するソーラーパークからの売電収入の確保、及びよりよい条件での売却の実行に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は59百万円(前年同四半期比3.4%増)、営業利益32百万円(前年同四半期比479.0%増)となりました。

## &lt;その他事業&gt;

成熟段階に至った既存事業に加えて新たな当社を支える基盤を構築すべく、LED照明機器の販売・レンタルを新たに開始いたしました。テストマーケティングの段階ではありますが、主に医療機関を対象として導入の提案を開始しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2億26百万円(前年同四半期は発生なし)、営業利益6百万円(前年同四半期は発生なし)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は74億66百万円で、前連結会計年度末に比べ4億47百万円の減少となりました。主な減少は現金及び預金の減少4億65百万円等であります。

負債は38億61百万円で、前連結会計年度末に比べ5億13百万円の減少となりました。主な増加は1年以内返済予定の長期借入金の増加3億11百万円等であり、主な減少は長期借入金の減少4億43百万円、買掛金の減少2億9百万円、未払法人税等の減少48百万円等であります。

純資産は36億4百万円で、前連結会計年度末に比べ65百万円の増加となりました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1億37百万円であり、主な減少は配当金の支払43百万円、自己株式の取得による減少28百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当初予定していた範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この減価償却方法の変更による当第1四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,239,019	1,773,339
受取手形及び売掛金	1,339,078	1,223,383
商品及び製品	1,720,448	1,540,245
原材料及び貯蔵品	297	282
その他	656,666	646,106
貸倒引当金	△5,763	△5,024
流動資産合計	5,949,746	5,178,332
固定資産		
有形固定資産		
土地	149,512	149,512
その他	501,496	499,958
有形固定資産合計	651,009	649,470
無形固定資産		
のれん	26,833	15,183
その他	47,959	337,600
無形固定資産合計	74,793	352,784
投資その他の資産		
差入保証金	740,626	739,517
その他	731,763	779,940
貸倒引当金	△233,733	△233,187
投資その他の資産合計	1,238,656	1,286,270
固定資産合計	1,964,459	2,288,525
資産合計	7,914,205	7,466,857
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,348,656	1,138,845
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	503,022	814,880
未払法人税等	120,846	72,022
短期解約損失引当金	407	479
その他	667,614	583,317
流動負債合計	2,740,546	2,709,544
固定負債		
長期借入金	1,341,395	898,235
役員退職慰労引当金	58,274	58,949
その他	234,705	195,185
固定負債合計	1,634,374	1,152,369
負債合計	4,374,921	3,861,913

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	728,734	728,734
資本剰余金	688,336	688,336
利益剰余金	2,909,816	3,004,147
自己株式	△787,603	△816,274
株主資本合計	3,539,284	3,604,944
純資産合計	3,539,284	3,604,944
負債純資産合計	7,914,205	7,466,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,532,394	7,042,960
売上原価	6,785,854	6,253,711
売上総利益	746,539	789,249
販売費及び一般管理費	536,326	573,941
営業利益	210,213	215,308
営業外収益		
受取利息	421	691
受取手数料	972	1,541
助成金収入	491	550
その他	448	334
営業外収益合計	2,334	3,117
営業外費用		
支払利息	9,381	6,453
その他	873	392
営業外費用合計	10,255	6,845
経常利益	202,292	211,579
特別利益		
関係会社株式売却益	2,992	—
その他	328	—
特別利益合計	3,321	—
特別損失		
固定資産除却損	—	2,447
特別損失合計	—	2,447
税金等調整前四半期純利益	205,613	209,131
法人税、住民税及び事業税	24,871	68,674
法人税等調整額	44,147	2,755
法人税等合計	69,018	71,430
四半期純利益	136,594	137,701
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,594	137,701



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	136,594	137,701
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	136,594	137,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,594	137,701
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	水宅配 事業	再生可能 エネルギー 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	5,737,398	1,685,235	52,589	57,170	7,532,394	—	7,532,394
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	2,709	—	—	2,709	(2,709)	—
計	5,737,398	1,687,945	52,589	57,170	7,535,103	(2,709)	7,532,394
セグメント 利益	122,539	64,809	17,306	5,557	210,213	—	210,213

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	水宅配 事業	再生可能 エネルギー 事業	その他 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	5,076,771	1,636,018	45,080	59,129	225,959	7,042,960	—	7,042,960
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	40	3,893	—	—	973	4,906	(4,906)	—
計	5,076,811	1,639,912	45,080	59,129	226,932	7,047,867	(4,906)	7,042,960
セグメント 利益	102,479	60,538	13,224	32,173	6,891	215,308	—	215,308

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「水宅配事業」、「再生可能エネルギー事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結累計期間より、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「水宅配事業」、「再生可能エネルギー事業」、「その他事業」の5つに変更しております。この変更は、当第1四半期連結累計期間より既存事業に加えて新たにテストマーケティングとして開始した、LED照明機器の販売・レンタルをその他事業として表示したためであります。